

奈良県中央卸売市場の再整備

(市場と一体となった「食」をテーマとした新たな賑わいゾーンの創出)

【担当省庁】 内閣府

奈良県の中央卸売市場再整備の考え方

〔事業の位置づけ〕

奈良県では、大和平野中央の磯城郡3町とともに、雇用の場の確保等に取り組む「大和平野中央田園都市構想」を推進しているが、大和平野中央地域の周辺地域に所在する中央卸売市場の再整備も、当該プロジェクトと連携して双方の事業の効果を向上させる事業として位置付けている。

〔基本方針〕

- 老朽化した県中央卸売市場を再整備し、卸売機能の高機能化・効率化を図るBtoBエリアとともに、市場の立地を活かした「食とともに文化・スポーツを楽しむ」華やかで賑わいのある複合拠点となるBtoCエリアを一体的に整備する。
- 市場エリア(BtoB)は、市場機能の高度化や食の安全・安心に必要となる施設整備を行い、食品流通拠点としての施設充実を目指す。
- 市場の機能を活用し、市町村とも連携しながら、魅力ある農水産物の提供を行う。
- 賑わいエリア(BtoC)は、県民や観光客が、食とともに文化・スポーツを楽しめるよう、フードホール、佐保川河川テラス、広場、遊園地、多目的ホール、宿泊施設を整備する。
- 京奈和自転車道を利用した「まほろば健康パーク」との連携、佐保川沿いの空間を活用した音楽や演劇の提供など市場施設の外の活動との一体的活用を進める。

〔整備の進め方〕

事業者公募に先立ち、民間事業者から整備施設や土地利用・レイアウト、整備手法等のアイデアを募集。提案されたアイデアを参考に公募内容を確定したうえで、両エリアを一括して整備する事業者公募を令和5年度を目処に行う。

国にお願いすること

中央卸売市場の再整備に対し、「**地方創生拠点整備交付金**」の**予算確保及び事業採択**をお願いしたい。(令和5年度から事業者公募し、年度内に事業着手する予定)

- **中央卸売市場の再整備**は、フードホール等賑わい施設を整備し、**官民協働で地域の賑わいを創出**することで、**観光・農林水産業を振興し、雇用を創出**する重要な取り組みであることから、**地方創生拠点整備交付金の交付**をお願いしたい。

【中央卸売市場再整備のイメージ】



市場エリア (BtoB) 高度化、物流効率化を実現した卸売市場

賑わいエリア (BtoC) 市場機能と連携した「食」の拠点としての賑わい創出

R4年度(2022)

R5年度(2023)

R6~10年度(2024~2028)

事業者選定

設計・工事

- アイデア募集の実施
(R4・4月)
- 実施プラン改訂
(R4・12月)
- 実施方針／
要求水準書(案)公表
(R5・3月)

- 公告
- 提案審査
- 整備事業者決定
- 契約

◎ 一部開業

◎ 全面開業